

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

第 3 回 サービス向上部会

開催日時

平成29年11月17日(金)

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所、中野市社協、くらぶDo、ながでんハートネットメゾふおるて、中野キッズはぐみ、グループホーム青りんご、ケアホーム希望、北信圏域障がい者生活支援センター、総合安心センターはるかぜ、ゆりかご、常岩の里ながみね、ふっくら工房ふるさと、山ノ内町社協、木島平村社協、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

①第3回研修会の振り返り ②第4回研修会のお知らせ ③地域生活拠点等事業について ④グループワーク

会議で話し合われた事

1. 第3回研修会の振り返りについて

テーマ 「こどもたちのいまとこれから」 講師 NPO 法人くらぶ Do 富井由美 氏 (参加者 34 名)

・児童をテーマにした研修会は初めてだったが、部会員の中で「児童⇒成人⇒高齢者」のライフステージの一連の流れを感じて頂けた。アンケートからは、成人の事業所と児童の事業所とのつながる形や方法などを深めることができた。

2. 第4回研修会のお知らせ

テーマ : 「ストレスさん、こんにちは」 ～ストレスと上手に付き合って明日への支援につなげよう～

日時会場 : 平成 29 年 12 月 6 日(水) 午前 10:30～12:30 飯山市公民館 講堂

講師 : 夢の実現を応援するメンタルトレーナー 加藤史子 氏

3. 地域生活拠点等事業について

①飯山市障がい福祉係 佐々木真吾氏より 事業内容の説明と、自立支援協議会長名で部会への検討依頼がある。

- (1) 入所・病院からの地域移行を目指し体験の場の確保について
- (2) 共同生活援助の短期入所の拡充について(緊急時・自立に向けて)
- (3) 在宅支援を支えるための、居宅支援の充実について

②地域安心コーディネーターより コーディネーターの動きと役割の説明

- (1) 緊急対応 (2) 地域づくり

③はるかぜより 空床の利用状況の報告

1か月 4～5日の利用、空床利用時間は48時間以内に会議を行い、出口支援を行う。

4. グループワーク (地域生活拠点等事業に絡めて、支援の現状を話し合う)

①ヘルパー

24時間体制で電話対応をしている。粗暴行為の危険がある方のお宅には2人体制で訪問している。緊急時119番通報で困らないように、自宅に基本情報を備えている。介護保険と障がい福祉の両制度の理解や支援力が必要。

②グループホーム

青りんごと希望はショートステイはない。空き部屋の活用は検討できるが、現場の支援力が課題である。緊急の受け入れは、入居者の不安につながる。利用者の高齢化も課題である。

③児童

夜間の飛び出しや家族への暴力等の現状がある。事業所によっては、身体の異変に気づける、レスパイトでの受け入れ、家での様子をイメージしながら情報共有できる。パニックが日常になっている家庭もあり、家庭で抱え込まないよう、支援に繋がる手だてが必要。パニックにならないコミュニケーション技術を家庭にも伝えていく。

※地域生活支援拠点等事業に関して検討依頼があった事項について、今後も部会内で検討を継続し、地域生活支援拠点等事業検討会議や自立支援協議会全体会へあげていくこととした。